(学校運営協議会・報告様式)

令和6年度 第6回 白鳥中学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日時 令和7年1月30日(木) 18:30~19:30

2 場所 会議室

3 あいさつ(学校長、委員長)

委員長: 今期最後の学校運営協議会となる。学校関係者評価について、今まで自分たちが議論してきた内容が効果が出たものがあるとよい。来年度に向けてみなさんのご意見をいただけるとありがたい。

学校長: 校内は落ち着いて取り組んでいる。3年は私立の発表や前期選抜のある時期。面接や作文など一生懸命な姿がある。1,2年は人権学習の授業に取り組んでいる。

4 協議内容

(1) 学校関係者評価について

【学力向上×ICT】生徒アンケートで「1時間の中で何をしているのかわからなくなることがある」42.4%の数値は高い。生徒と先生の認識との間でギャップがある。ICT教育が進む半面、読解力が低いことにつながっているのでは。本や文章に接する時間が減っている。ICTを活用しつつ、本に親しむ機会や読書の時間等、対策が必要。

【長期欠席対策】不登校、長期欠席は関連がある。レジリエンス教育に全学年で取り組んでいることはとても良い。高校でも、卒業後3年以内の離職率がとても高い。嫌なこと、苦手なことがあった時に諦めたり我慢する力が弱くなっている。学校の中で、集団やチームで過ごすこと、人間関係の大切さ、社会生活の必要性や意義を学ばせたい。

【地域連携】地域から中学校に対して、何も働きかけができなかった。部活動の地域移行もあり、中学生が地域のイベントに参加できるよう声かけをしていく。ボランティアの募集をしていく。

【非認知能力の育成】人権学習、仲間づくりを土台とした授業改善を一層進める必要がある。教職員の研修会を行う。

【人権教育】人権フォーラムを参観して、グループで意見を言い合って自分の考えをまとめることや、みんなの前で発表することは今後の子どもたちの成長につながると感じた。このような学習の継続を。

【教職員の健康】体ももちろんだが、精神面での健康も気になる。心と体にゆとりをもって子どもたちに接することができるようになってほしい。ICT化で打合せや会議の時間が短縮されるのはとても良い。

(2) 支援課より

1年間、学校運営協議会へのご参加、ご協力へ感謝したい。来年度に向けて関係者評価ではいろいろな切り口でご意見がほしい。非認知能力の育成、地域連携等、先生たちも学んでいくことでレベルアップする。

(3) その他 連絡 卒業式3月6日(木) 出欠の報告依頼